

2017 年度

韓国留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：9月5日（火）～12月28日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016118
村木 沙弥香

目次

1	留学先及び留学期間	2
2	留学先概要	2
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

1 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

留学期間：平成 29 年 9 月 5 日（火）～平成 29 年 12 月 28 日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

慶熙大学は、ソウル特別市東大門区に位置し、幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた名門私立大学である。現在、ソウル、水原、光陵の 3 カ所にキャンパスを構えており、韓国語を学ぶための国際教育院はソウル、水原キャンパスの 2 カ所にある。そして、国際教育院には年間約 80 余カ国から 6000 人余りの留学生が来て韓国語を学んでいる。また、トウミ制度といって留学生に慶熙大学の学生がマンツーマンでつき、韓国語で会話をしたり留学生の生活の手助けをするなど、様々な面でバックアップを受けられるのも特徴的である。

(2)国際教育院で行われている教育について

国際教育院では、個人の学力に応じてクラスが分けられ、多国籍の外国人と共に韓国語の授業を受ける。1 クラス 15 人ほどの少人数クラスであるため、生徒 1 人ひとりと先生がしっかりと向き合える環境であり、授業でわからない点があればすぐに先生に聞くことができる。授業は文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの授業があり、韓国語を総合的に身に着けることができる。

3 研修目的

今回の留学の目的は、「語学力の向上」はもちろん「自分自身の成長」のためでもあった。日本にいても韓国語を学ぶことはできるが、やはり常に韓国語が飛び交う環境であれば、より一層韓国語の力が身につくと思ったからだ。また、日本にいては授業内でしか韓国語を話す機会がないため、韓国語に慣れることが難しく語学力を伸ばすことに限界を感じた。

一方、自分自身の成長とは生活面や行動面である。今まで一人暮らしをしたことがなく親に頼っていた生活だったため、何事も自身の力でやり遂げ生活するというのであった。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日（曜日）	午前	午後
9	5（火）		到着、入寮

	6 (水)	オリエンテーション、入校式、 クラス分け試験	トウミと懇談会
	7 (木)	韓国語 (初級 1)	
	8 (金)	韓国語 (初級 1)	
	11 (月)	韓国語 (初級 1)	韓国の映画
	12 (火)	韓国語 (初級 1)	韓国事情 (特講)
	13 (水)	韓国語 (初級 1)	韓国の歌
	14 (木)	現地学習	
	15 (金)	韓国語 (初級 1)	セミナー
	18 (月)	韓国語 (初級 1)	韓国の映画
	19 (火)	韓国語 (初級 1)	韓国事情 (特講)
	20 (水)	韓国語 (初級 1)	韓国の歌
	21 (木)	現地学習	
	22 (金)	韓国語 (初級 1)	セミナー
	25 (月)	韓国語 (初級 1)	
	26 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	27 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	28 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	29 (金)	韓国語 (初級 2)	
	チュソク連休		
10	9 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	10 (火)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	11 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	12 (木)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	13 (金)	韓国語 (初級 2)	
	16 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	17 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	18 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	19 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	20 (金)	韓国語 (初級 2)	
	23 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	24 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	25 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	26 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	27 (金)	韓国語 (初級 2)	

	30 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	31 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
11	1 (水)	中間試験	
	2 (木)	中間試験	
	3 (金)	韓国語 (初級 2)	
	6 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	7 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	8 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	9 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー
	10 (金)	韓国語 (初級 2)	
	13 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	14 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	15 (水)	現地学習	
	16 (木)	現地学習	
	17 (金)	韓国語 (初級 2)	
	20 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	21 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
	22 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌
	23 (木)	韓国語 (初級 2)	
	24 (金)	韓国語 (初級 2)	
	27 (月)	韓国語 (初級 2)	韓国の映画
	28 (火)	韓国語 (初級 2)	韓国事情 (特講)
29 (水)	韓国語 (初級 2)	韓国の歌	
30 (木)	韓国語 (初級 2)	セミナー	
12	1 (金)	韓国語 (初級 2)	
	4 (月)	期末試験	
	5 (火)	期末試験	
	6 (水)	特別授業	韓国の歌
	7 (木)	特別授業	セミナー
	8 (金)	修了式	
	11 (月)	TOPIK 授業	
	12 (火)	TOPIK 授業	韓国事情 (特講)
	13 (水)	TOPIK 授業	韓国の歌
	14 (木)	TOPIK 授業	セミナー
	15 (金)	TOPIK 授業	韓国の映画

	18 (月)	TOPIK 授業	韓国の映画
	19 (火)	TOPIK 授業	
	20 (水)	TOPIK 授業	TOPIC 授業
	21 (木)	TOPIK 授業、修了式	韓国の歌
	22 (金)	セミナー発表	
	23 (土)	自由研修	
	24 (日)		
	25 (月)		
	26 (火)		
	27 (水)		
	28 (木)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 韓国語 (初級 2)

(※初級 1 は国情の生徒だけで行う)

毎日、9 時から 13 時までの 4 コマの授業で文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングを日替わりで行う (文法は毎日)。1 クラス 15 人ほどの少人数クラスであるため、非常に勉強しやすい環境である。また、先生方はもちろんすべて韓国語で授業を行うが、クラスに見合ったレベルの韓国語で話してくれる。

ii) 韓国の映画

毎週月曜日の午後の授業は、国情生で韓国の様々なジャンルの映画を見る。字幕なしの韓国語で見るため、最初は何を言っているかほとんどわからないが、自然と聞き取れるようになってくる。映画を見た後は、先生と映画について振り返り、午前の韓国語の授業では習っていない韓国語も身に着けることができる。

iii) 韓国事情 (特講)

毎週火曜日の午後の授業は、国情生で特別講義を受ける。韓国の歴史や現代、大衆音楽について慶熙大学の卒業生や教授の方からお話を聞いたり、習字、ダンス、テコンドーなど体を動かしたりと、座学では学べないことを特講で受ける。

iv) 韓国の音楽

毎週水曜日の午後の授業は、国情生で韓国の音楽についての授業を受ける。毎週 1 人ずつ、自分の好きな歌と歌手をパワーポイントを使って発表する。発表の後は、その歌の PV を見て、みんなで歌ったりする。

v) セミナー

毎週木曜日の午後の授業は、国情生でセミナーの授業を受ける。最初は、4人ほどのグループに分かれ、韓国の衣食住や、結婚、韓国人の性格についてなどを自分たちで調べ、発表する。この発表が終わったら、自分が興味のある日韓の比較についてひとりひとり調べ時間をかけて準備し、最終的に発表を行う。すべて韓国語の発表であるため、準備は大変で言いたいことを上手く韓国語で表現できなかつたりと難しい面もあったが、習ってきた韓国語を実際に口に出して話せる機会だったため、非常に力がついたと思う。

vi) 現地学習

夏学期ではソウルの観光地へ行き、様々な体験をした。

秋学期では一泊二日で、雪岳山や海へ行き、クラスの仲間との思い出が増えた。

vii) 中間・期末試験

文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングのテストを二日間で行った。テストは授業で習った範囲のみで、マークシート方式であり、スピーキングは先生とマンツーマン形式のものと、友人と2人で行う会話形式であった。

viii) TOPIK 授業

最後の2週間では TOPIK 対策に特化した授業が行われた。過去問を解き、現時点での自分の語学力が試された。

ix) 自由研修

すべての授業が終わり、この5日間は各自自由に過ごした。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 語学力の向上

留学前は韓国語を話すことも聞き取ることもほとんどできなかったが、留学が終わるころには言いたいことを相手に伝えたり、店員さんが言っていることを聞き取れたりとかなり語学力が身についたと感じた。また、韓国語で相手と意思疎通ができたときは本当に嬉しかった。

ii) 自分自身の成長

生活面において、すべて自分でやらなければいけないという環境で生活していたため自立心はついたと思う。また、多国籍のクラスメイトと接することで日本と他国の様々な

面での違いや共通点を肌で感じ、今まで未知だったこともたくさん得られた。

6 反省・課題

4カ月といった短い時間であったが、非常に多くのことを学ぶことができ、有意義かつ貴重な体験をした留学となった。

留学前に比べると留学後は、語学力も自分自身も大きく成長し、留学をして良かったと心から思う。この4カ月で得た多くのことを今後に活かし、一層韓国語の勉強に力をいれていきたい。

謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて指導をしてくださったパクソニョン先生、キルジス先生、また生活面全般に置いて面倒を見てくださった林りなさん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、留学へのサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、申銀珠先生、朴修禧先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。



